

平成31年度 大阪府立登美丘高等学校 第1回学校運営協議会 記録

○日時：令和元年6月25日（火） 14：00～16：00

○場所：本校 校長室

○出席者：伊藤 潔志（桃山学院大学経営学部准教授）、吉井 昌幸（虹ヶ丘地区自治会長）、
薬師寺 広隆（第一ゼミナール金剛校 校長）、笈廣 啓史（同窓会長）、
泰中 加代子（PTA 会長）、藤本一明（登美丘中学校長）

○欠席者： なし

○事務局：校長、教頭、古崎首席、益永首席、原進路部長

<次第>

1. 校長挨拶

2. 学校運営協議会について

- ・学校運営協議会実施要項の確認
- ・会長に伊藤氏、副会長に笈廣氏を選出

3. 報告

- ①平成31年度学校経営計画について
- ②平成30年度 進路状況について
- ③教科書選定について
- ④その他

4. 授業見学・施設見学（14：45～15：30）

○コミュニケーション英語Ⅱ（2-7） ○生物基礎（1-1） ○現代文B（3-3）

5. 協議

○主な意見・質問等

- ・経営計画に「国際交流事業に取り組む」とあるが修学旅行も日本に戻ったと聞く。具体的には？
→12月にシアトルから10名ホームステイ・3月にはこちらから10名シアトルに 他台湾からも。
- ・進学状況は分かったが就職状況はどうか →今年希望者は0、公務員（警察消防等）の希望がある。
- ・部活動参加率が高く、自治会長としても生徒の活動の元気な声を聞いて安心している。一方で、部活動制限もあると聞く。運用はどうしているか。→ノークラブデー、年間104日の休日設定している。
- ・授業見学を終えて、ICT を利用したり、じゃんけんをしたり子どもが楽しそうに授業参加したりして、とてもいい雰囲気だった。ぜひこういう授業を続けて行ってほしい。
- ・ダンス部が有名で、活躍がよく聞こえてくるが、ほかのクラブの活躍も伝えてほしい。
→ホームページをスマホでも見やすくリニューアルする予定。様々なクラブの活躍も伝えていきたい。
- ・100周年に向けて この地域でも子どもがどんどん少なくなっている中、魅力特色をしっかりと踏まえ、100周年という機会をとらえて訴えてほしい。

（座長まとめ）

今回は進路結果をしっかりとかがえてよかった。私立大学の定員厳格化は大学のほうも大変で、不本意入学が増えないか不安もある。私立大学の定員厳格化は今後も続くと思われる。しかし、数字は大切であるが、数字のみならず、生徒一人一人を見据えたきめ細やかな指導を続けてほしい。
世の中は大学受験改革、働き型改革など、さまざまな変化が押し寄せてきているが、先生方、健康に留意して進んでほしいと思っています。

*第2回：令和元年9月14日（土）13時より開催予定（文化祭も見学）